

# 草原新聞

第3号

平成19年2月  
発行

## 楽しみながら

## 阿蘇の草原を学ぼう！

### 草原再生キッズホームページの開設

### 出前講座などの取り組みを実施中



草原再生キッズホームページ <http://www.aso-sougen.com/kids/index.html>

この『草原新聞』は、阿蘇市内の小学校に通う児童をもつ保護者の方にお届けしています。あわせて、小学1年生から3年生には『子どもそうげんしんぶん』を、小学4年生から中学3年生には『草原しんぶん』を配布しています。子どもたちとともに、草原に目を向けるきっかけにいただければ幸いです。

環境省では、地元の子ももちに、阿蘇の草原のことを知ってもらうために、さまざまな取り組みを進めています。草原新聞第2号に掲載した取り組みもあわせて、ご紹介いたします。

### キッズホームページ

阿蘇草原再生ホームページに、キッズページを開設しました。

- ①景色のはなし
- ②生物の世界
- ③人と草原
- ④草原があぶない
- ⑤草原をまもるために

の五つの草原に関する話題について、かわいいキャラクターが、クイズを出題しながら説明します。草原の価値や草原が直面している問題を、子どもたちが楽しみながら学ぶことができます。

また、阿蘇の草原について知りたいことや疑問に思う事をメールすると、あか牛キャラクターのくさ子ちゃんから返事が届きます。大人も十分楽しめる内容になっていますので、お子様と一緒にご覧ください。

### 出前講座

環境省では、スタッフ派遣

による草原環境学習講座を実施しています。

これまで、地元の小学校や県外の修学旅行生、熊本市内の中学生向けに、クイズや紙芝居を交えた講座や、草原を肌で感じる講座などを行ってきました。

スタッフは、阿蘇の国立公園内で自然を守る仕事をしてい



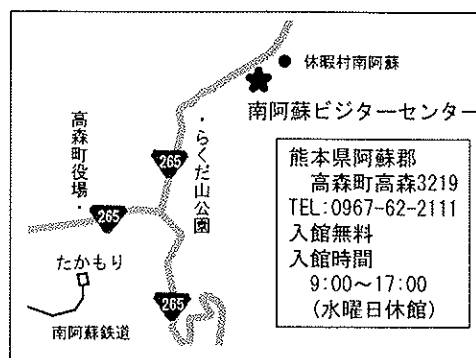
出前講座で、スタッフの紙芝居に見入る修学旅行生たち

南阿蘇ビジターセンターは、阿蘇の自然を紹介している施設です。

四季折々の野草の大パネル、阿蘇の地形が一目でわかるジオラマなどの展示物を用いて、様々な角度から阿蘇の自然をわかりやすく解説しています。人と草原のかかわりを説明したコーナーもあります。

そのほか、自然観察会やイベント展示も行っています。『子ど

もそうげんしんぶん』のぬりえコンテスト参加作品は、ここに展示されます。阿蘇の自然について、新しい発見があるかもしれません。家族で訪ねてみてはいかがでしょうか。



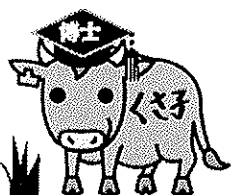
南阿蘇ビジターセンター所在地

### 草原博士になろう

環境省が指定する、草原を学ぶための観察会やイベントに参加すると、メダルシールがもらえます。

それを集めて所定の台紙に貼り、係りまで送ると、草原博士認定証がもらえます。是非、ご参加ください。

\*詳しくは、草原再生ホームページは、環境省阿蘇自然環境事務所まで





アズマイチゲ：2月下旬～4月

阿蘇の草原には、季節ごと  
に様々な植物が見られます。  
その数は、六百種類以上とも  
いわれています。なかには、  
中国と陸続きだったころ日本  
に渡ってきたとされる大陸性  
遺存植物（ヒゴタイ、キスミ  
レなど）や、主に北方に見ら  
れる北方系植物（スズラン、  
クサレダマなど）も見られます。  
広大な阿蘇の草原は、放牧地  
採草地、湿地など、様々な環  
境を有しています。このことが、  
それぞれの植物に適した自然  
条件を整え、多様な生育の場  
を提供しているのです。

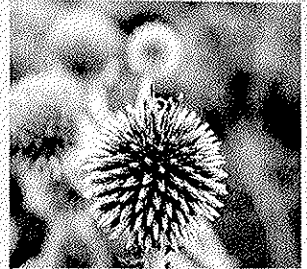
放牧地は、牛馬が草を食べ、  
踏みつけることで、草丈が低い  
草原になっています。ここでは、  
牛が嫌いで食べ残す、ワラビや  
オキナグサなどの植物が多くみ  
られます。



オキナグサ：4～5月

採草地には、ススキ、ユウス  
グ、オミナエシ、ヒゴタイなど  
草丈の高い植物が多く、春から  
秋にかけて色とりどりの花が咲  
きます。草刈りを行うことでス  
スキの占有が抑えられ、さまざ  
まな植物が育ちます。  
また、草原の中の湿地には、  
サクランソウ、リュウキンカなど  
水辺を好む植物が見られます。  
最近では、高齢化などにより、  
野焼きや採草などの作業が中止  
されることも多くなりました。

# 子どもに伝える阿蘇の草原



ヒゴタイ：8～9月

## 草原の草花

ここでは、小学校1～3年生  
向けの草原新聞で取り上げて  
いる題材を簡単に解説してい  
ます。

### 保護者の方へ

今回の子ども向け草原新聞のねらい

小学校1～3年生を対象とした『子どもそうげんしんぶん』では、草原には様々な種類の植物が育っていること、草原を守ることはこれらの植物の保護にもなることを伝えることをねらいとしています。阿蘇の草原保全のために何ができるか、子供たちと一緒に考えてください。

その結果、草原のヤブ化が進み、多様な草原環境がなくなりつつあります。  
環境省では、減少が進む阿蘇の草原を保全し、将来の子どもたちに引き継ぐため、「阿蘇草原再生事業」を実施し、さまざまな取り組みを行っています。  
米塚の修復もその一つです。米塚の優美な姿は、阿蘇を訪れる人々を魅了してきましたが、近年、心ない登山者の踏み荒らしにより、一部斜面の裸地化や雨水による侵食が進み、幾重もの溝ができてしまいました。  
そこで、溝に土留めを設置し、その上に土を盛って修復し、周辺の植生に合わせたシバやススキで盛土を覆わしました。この結果、傷のような溝はなくなり、回復への一歩を踏み出しました。

## 子どもの作品を募集します

### ◆小学1～3年生の児童の保護者の方へ

- 『子どもそうげんしんぶん』の表面の塗り絵を完成させ、封筒に入れ80円切手を貼付の上、ご投函ください。
- 作品はご返却いたしますので、新聞の裏面に住所・氏名をご記入ください
- 応募いただいた作品は、すべて南阿蘇ビジターセンター（高森町）に展示させていただきます。

※南阿蘇ビジターセンターの所在地および連絡先は、表面に記載しています。

- 応募いただいた作品を環境省レンジャーが審査し、金賞と銀賞を2名ずつ選びます。入選された児童には賞状と景品をお送りします。

あて先 環境省 阿蘇自然環境事務所  
〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1180  
締め切り 平成19年3月9日(金)  
備考 選考結果は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### 風物詩 「米塚」

大昔は米でできていて、阿蘇大名神が米をすくって貧しい民に与えたため天辺がくぼんだという言い伝えが残る米塚。うっすらと雪をかぶった姿は、新緑の季節とはまた違った風情を見せる。



## 親子で楽しむ草原 × 第3回：野焼き後の草原



3月のお彼岸前後、阿蘇では一斉に野焼きが行われ、草原の斜面は黒々とした焼け跡になります。野焼き後の草原には、草がなくなってむき出しになったゴミ（右下：ペットボトル）、焦げたうさぎの糞、動物の巣穴、山菜（左：フキノトウ）などがみられ、緑の草原とは一味違った発見があります。  
親子で野焼き後の草原に出かけ、宝探しをしてみましよう。